

令和4年7月 吉日

関係者 各位

弘前大学大学院保健学研究科長

齋 藤 陽 子

(公印省略)

弘前大学大学院保健学研究科 「第7回 放射線看護セミナー」および
「2022年度放射線看護ベーシックトレーニング」のオンライン開催について (通知)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本研究科の教育・研究につきましては、平素から格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、標記セミナーおよび研修会を別紙のとおりオンライン開催することとなりましたのでお知らせいたします。

つきましては、貴機関の関係者へ周知いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、本研究科の博士前期課程 放射線看護高度看護実践コースでは「放射線看護専門看護師」の教育を行っております。放射線看護専門看護師は2022年2月に日本看護協会分野特定され、今年度から認定審査が開始となります。学生募集チラシも同封させて頂きました。こちらも併せてご周知くださると幸甚に存じます。

敬具

【参考URL】

弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進プロジェクト
<https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

【事務担当】

弘前大学保健学研究科

総務グループ 柏村

Tel : 0172-39-5518 Fax : 0172-39-5912

E-mail: hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

第7回 放射線看護セミナー 開催要項**◆開催趣旨**

放射線を用いる検査および治療は高度化・専門分化し、放射線診療の適応範囲は年々拡大しています。看護師は臨床の様々な場で放射線診療を受ける患者の看護に携わっていますが、看護基礎教育や卒業後の継続教育においても、放射線に関する学習の機会は多くありません。本研究科博士前期課程では、2015年4月より「放射線看護高度看護実践コース」を本学大学院に開設し、教育を開始しました。本コースは、2017年に日本看護系大学協議会からCNSの放射線看護専攻教育課程の認定を受け、2022年に、日本看護協会より専門看護分野として「放射線看護専門看護師」が承認されました。放射線や放射線防護に関する専門的知識を基盤とし、画像診断や核医学診療、IVR診療、放射線治療、さらには被ばく医療に関して高度な看護実践ができる人材育成を目指しております。また、放射線看護に関する様々な教育支援も行っております。

このような取組みの中、2016年度から「放射線看護セミナー」を開催してきました。本セミナーはINE更新単位取得（5単位）の対象として認定を受けており、放射線看護に携わる看護師のために放射線の基礎を分かりやすく解説するとともに、核医学における看護師の役割について最新の知見をまじえて理解を深めることを目的としています。

◆開催日時：令和4年10月15日（土） 13時00分～16時00分（質疑応答を含む）

◆開催形式：Web開催（Zoom）

◆テーマ：「放射線診療における看護に必要な基礎知識 2022」

◆対象者：放射線看護に興味・関心のある医療職者（先着200名程度）

◆参加費：無料

◆申込み方法：次の専用フォームからお申し込みください。

（事前申込み制）

<第7回放射線看護セミナー申込フォーム> <https://forms.office.com/r/xhQJvT9PKe>

◆受付開始日：令和4年8月1日（月）※申込先着順で定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。

◆プログラム

時刻	内 容
13:00～13:10	開会の挨拶
13:15～14:15	●教育講演1 放射線の基礎と医学利用 弘前大学大学院保健学研究科 細川 翔太
14:15～14:30	休憩
14:30～15:00	●教育講演2 神経内分泌腫瘍に対する新規ペプチド受容体核医学内用療法の理論と治療概要 国立大学法人弘前大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学講座 教授 青木 昌彦先生
15:00～15:30	●教育講演3 ルタテラによる治療を受ける患者の看護 国立大学法人弘前大学医学部附属病院 がん放射線療法看護認定看護師 同大学院保健学研究科 放射線看護高度看護実践コース 修了生 佐藤 裕美子先生
15:30～15:45	放射線看護高度看護実践コースの教育内容について 弘前大学大学院保健学研究科 野戸 結花
15:45～16:00	閉会の挨拶

◆主 催：弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

◆お問合せ先：弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）

電話：0172-39-5518 FAX：0172-39-5912 メール：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

【参考URL】被ばく医療人材育成推進プロジェクト HP：<https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>



国立大学法人弘前大学大学院保健学研究所
被ばく医療人材育成推進委員会放射線看護教育部門主催



第7回放射線看護セミナー 放射線診療における 看護に必要な基礎知識2022

日時

令和4年10月15日（土）13:00～16:00
Web開催 ◆Zoom使用

対象

放射線看護に興味・関心のある医療職者
（先着200名程度）

内容

教育講演1 13:15～14:15
放射線の基礎と医学利用

弘前大学大学院保健学研究所 細川 翔太

教育講演2 14:30～15:00

神経内分泌腫瘍に対する新規ペプチド受容体

核医学内用療法の理論と治療概要

弘前大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学講座 教授
青木 昌彦 先生

教育講演3 15:00～15:30

ルタテラによる治療を受ける患者の看護

弘前大学医学部附属病院 がん放射線療法看護認定看護師

同大学院保健学研究所 放射線看護高度看護実践コース 修了生
佐藤 裕美子 先生

申込
方法

事前申し込み制（参加費無料）

次の専用フォームからお申し込みください

＜放射線看護セミナー申し込みフォーム＞

<https://forms.office.com/r/xhQJvT9PKe>



受付
開始日

令和4年8月1日（月）

◆申し込み先着順で定員に達し次第、受付終了となります

お問
い
合せ先

弘前大学大学院保健学研究所 放射線看護教育支援センター（担当：柏村）
TEL:0172-39-5518 FAX:0172-39-5912 E-mail:hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp
URL:<https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

◆本セミナーはINE更新単位取得（5単位）の認定対象セミナーです◆

◆2022年2月に日本看護協会の専門看護師の専門看護分野に「放射線看護」が新たに特定されました◆

学生募集

未来を守る。



本学では、社会人が学びやすいように、講義は平日の夜間と土曜日、集中講義で開講しています。また、多くの科目は、インターネットを活用した遠隔授業が可能で、来学しなくても自宅や職場からリアルタイムで講義を受講することができます。一部の講義ではeラーニングを取り入れており、ご自身の都合に応じて受講することも可能となっています。また、長期履修制度を活用することで、最大4年間の履修期間で学ぶことができます。



所定の単位を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格することにより、「修士(看護学)」の学位を取得できます。なお、本コース修了者には「放射線看護高度実践看護師(Radiological Nursing Specialist)」の学内称号を付与します。

文部科学省の「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定されました(2017年)
日本看護系大学協議会からCNSの放射線看護専攻教育課程の認定を受けました(2017年)

日本看護協会の専門看護分野に「放射線看護」が特定されました(2022年)

入試日程は6月以降HP等で公表する予定です。

●弘前大学大学院保健学研究科HP

<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/kouhou/hg/web/daigakuin/>

●お問い合わせ先

野戸 結花 / ☎ 0172-39-5923 ✉ noto@hirosaki-u.ac.jp

漆坂 真弓 / ☎ 0172-39-5974 ✉ urushima@hirosaki-u.ac.jp



放射線看護高度看護実践コース

弘前大学大学院保健学研究科では、2015年度から『放射線看護高度看護実践コース』を開設しております。本コースでは、「被ばく医療における看護支援」及び、「医用放射線利用に伴う看護支援」の2つの領域のうち、いずれかを選択して学習して頂きます。

放射線看護の対象



教育目的

放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を基盤とし、施設や地域における個人や集団の放射線被ばく防護対策に従事すると共に、放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族および集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材の育成を目指します。

教育目標

1. 放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を活用し、顕在あるいは潜在した放射線の人体影響を有する対象への高度看護実践を行うことができる。
2. 放射線被ばくを最小限にするための的確な臨床判断と管理を行うことができる。
3. 個人や集団が放射線に関する正しい知識を有し、自らの健康を守るための判断と行動ができるように教育・啓発活動及び相談活動ができる。
4. 看護職者に対して、放射線看護に必要な知識及び技術に関する教育・相談活動ができる。
5. 放射線看護に必要な教育・医療システムの調整を行うことができる。
6. 放射線看護に関する倫理的課題に対し的確な判断を行い、解決に向けて支援を行うことができる。
7. 放射線看護に関する専門的知識や技術の向上に資する看護研究を行うことができる。

〈放射線看護高度看護実践コース〉カリキュラム

放射線看護高度看護実践者

専門科目 必修科目10科目24単位を含む28単位以上

10単位 放射線看護学実習

4単位 放射線看護学課題研究

14単位

基礎放射線学特論、被ばく医療学特論、放射線医学特論、放射線看護学特論、放射線看護学特別演習、被ばく医療看護論、被ばく医療看護方法論、医用放射線看護方法論

共通科目 必修科目6科目12単位を含む14単位以上

看護教育学特論、看護管理学特論、看護理論、看護研究方法論、コンサルテーション論、看護倫理学特論、看護政策論、フィジカルアセスメント、病態生理学、臨床薬理学

